

所属 総合文化コース	職名 教授	氏名 中井 幸比古	大学院における研究指導担当資格の有無 (有)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年月日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)					
		2006年4月～2015年3月	①毎時間、講義のためのプリント・復習教材を作成し、授業の要点がわかりやすくなるように配慮した。 ②種々の録音資料を学生に聞いてもらい、多様な音声の実態を伝えるとともに、調音音声学の基礎を固めるべく努めた。また、音声分析ソフトによる研究方法を紹介した。		
2 作成した教科書、教材、参考書					
		2006～2015年3月	講義のための授業プリントに加え、下記『音声研究入門』(2005)・『はじめて学ぶ日本語学』(2011)・『日本語アクセント入門』(2012)の執筆箇所を用いて、日本語の音声・アクセントなどに関する授業を行った。		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・共 著の別	発行または発表の年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
「多言語の車内放送」	単著	2014年1月	『鉄道文学』35		34-43
「ひょうご選書 淡路ことば辞典」(紹介文)	単著	2014年1月5日	『神戸新聞』		新聞記事
「京阪方言の比較―「のだ」、敬語、否定、引用の「と」、語尾のス・ル、擬古方言―」	単著	2014年3月	『神戸外大論叢』64-3		23-52
「列島縦断! 日本全国イチオシ方言 京都府」	単著	2014年5月	『日本語学』2014年5月号		70-71
「近畿地方の方言」	単著	2014年11月	『日本語大事典』朝倉書店		項目執筆
「近畿・四国の昔語りの言語特徴―1 拍語・無声化・のだ―」	単著	2015年2月	『「アジアにおける自然と文化の重層的関係の歴史的解明」最終年度成果報告書』		13-18
「日本語アクセントに関する3つの問題―音調意識、アクセント規則の有効性、類別語彙―」	単著	2015年3月	『神戸外大論叢』65-1		3-30
「上方ことばと江戸ことば」「お国ことば」「ラジオ・	単著	2016年1月	『日本文化事典』丸善		92-93、94-95、

テレビと標準語」					116-117
『小豆島諸方言のアクセント資料』	共著	2017年3月	徳島大学	◎中井幸比古、岸江信介、 峪口有香子、島田治	11-134
「京都弁の癖」	単著	2018年1月	『日本語学』2018年1月号		26-36
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
～現在	日本語学会会員・2009年6月～2012年5月編集委員				
～現在	日本音声学会会員				
～現在	日本語教育学会会員				
～現在	日本言語学会会員				
～現在	社会言語科学学会会員				